





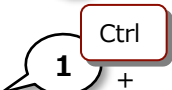
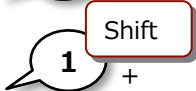

～ルミナスプランナー連携編～

目次

電気図面を作画してみましょう

1. 図面を開く
2. 部屋
3. オブジェクトカタログ
4. LP部材登録
5. 照度計算
6. LP連携
7. 名前を付けて保存

マウスの使い方

- | | |
|---|-------------------------------------|
|  | …指示位置をクリック (左クリック) します。 |
|  | …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。 |
|  | …指示位置をダブルクリック (左2回クリック) します。 |
|  | …マウスを表示位置に近づけます。 |
|  | …[Ctrl]キーを押しながらクリック (左クリック) します。 |
|  | …[Shift]キーを押しながらクリック (左クリック) します。 |
| 
右ドラッグマウス移動 | …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。 |

1. 図面を開きましょう

Operation

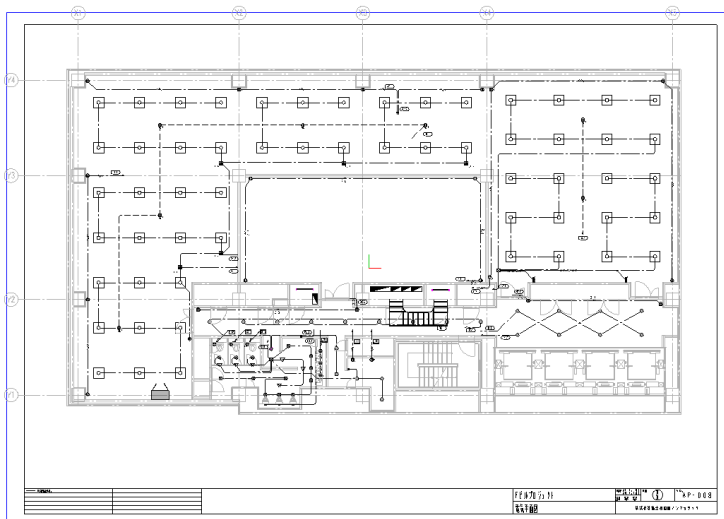
開く



使用する図面は
Smart_60_E02_電気開
始.ZDW

① 図面を選択します

② 開く



補足
説明

ルミナスプランナー連携を使用するために

ルミナスプランナー連携で「LP照度計算」「LP部材登録」を使用するには、以下の環境と設定が必要です。

- ・ ルミナスプランナーのインストール
Luminous Planner Version 8.0以降の製品で対応しています。インストール後、インターネット環境に接続した状態で、必ず起動確認を行ってください。
- ・ インターネット接続
「LP部材登録」を行うためにはインターネット接続が必要です。なお、1度登録いただいた部材は次回からオフラインでも使用可能です。

2.

部屋情報を作画してみましょう

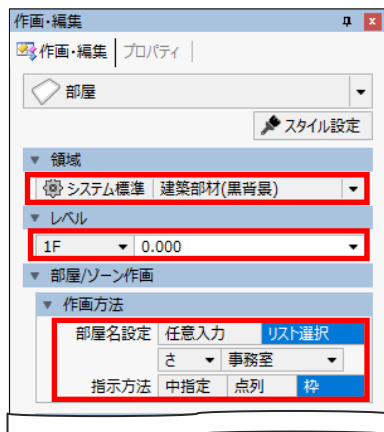
Operation

部屋



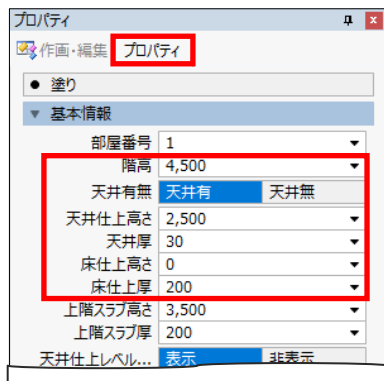
- ① 照度分布に使用する部屋情報を設定します

*プリセット：建築部材(黒背景)
*レベル：0
*部屋名設定：リスト選択、さ、事務室
*指示方法：枠



- ② プロパティを設定します

*階高：4500
*天井有無：天井有
*天井仕上高さ：2500
*天井厚：30
*床仕上高さ：0
*床仕上厚：200

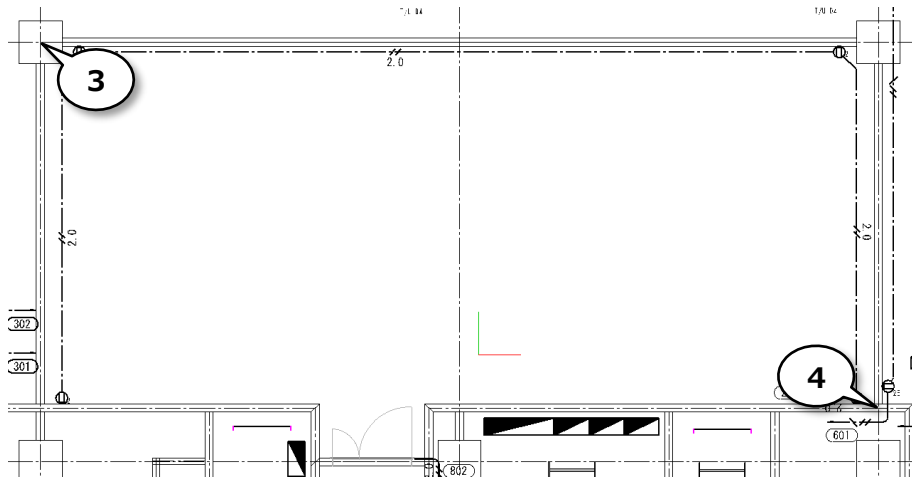


- ③ 枠始点を指示してください

*通り芯の交点をクリック

- ④ 枠終点を指示してください

*通り芯と壁芯の交点をクリック



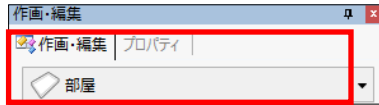
3.

ルミナスプランナー連携を使って照明器具を登録してみましょう

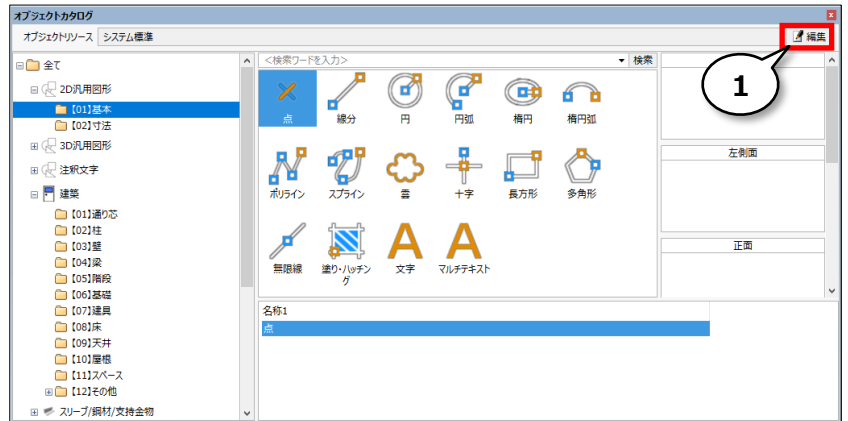
Operation

オブジェクト カタログ

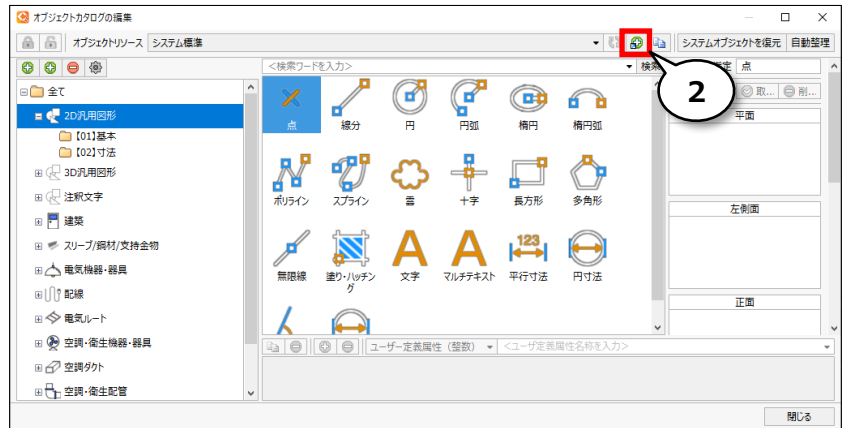
「作画・編集」タブに切り替え、「部屋」をクリック



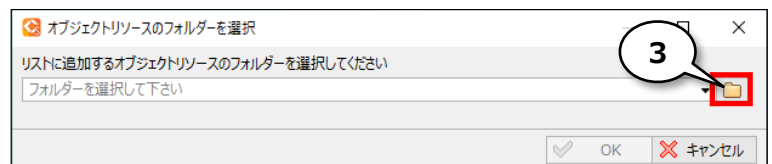
① オブジェクトカタログを編集します



② 既存のオブジェクトリソースフォルダーをリストに追加します



③ リストに追加するオブジェクトリソースのフォルダーを選択してください



① 登録データを作成するフォルダーを選択します
*あらかじめ、シンボル登録データを保存するフォルダーを作成しておき、選択します

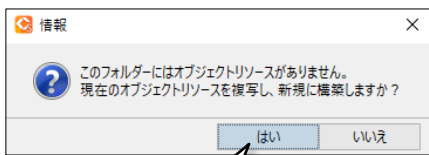
② 「フォルダーの選択」をクリックします



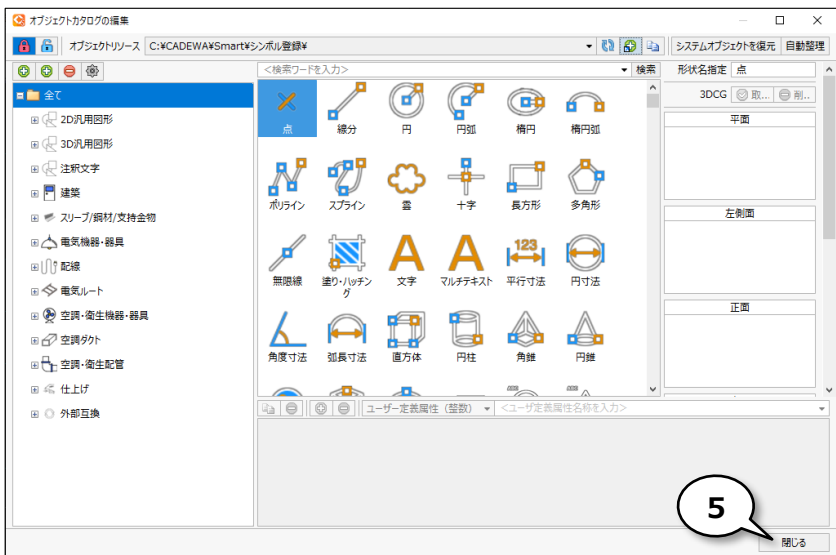
③ OK



④ はい
*2回目以降、1回目と同じフォルダを選択して登録する場合、この操作は不要です



⑤ 閉じる

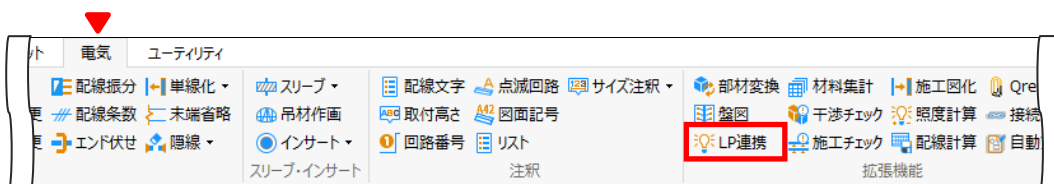


4.

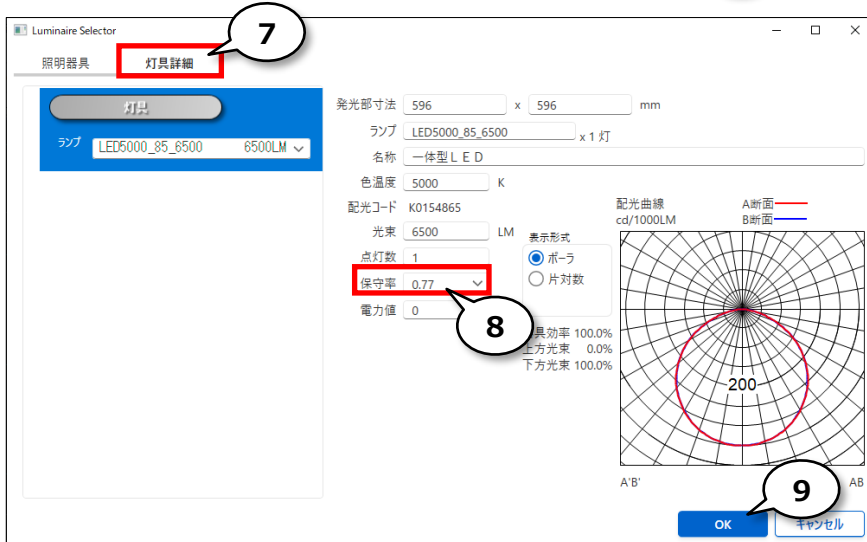
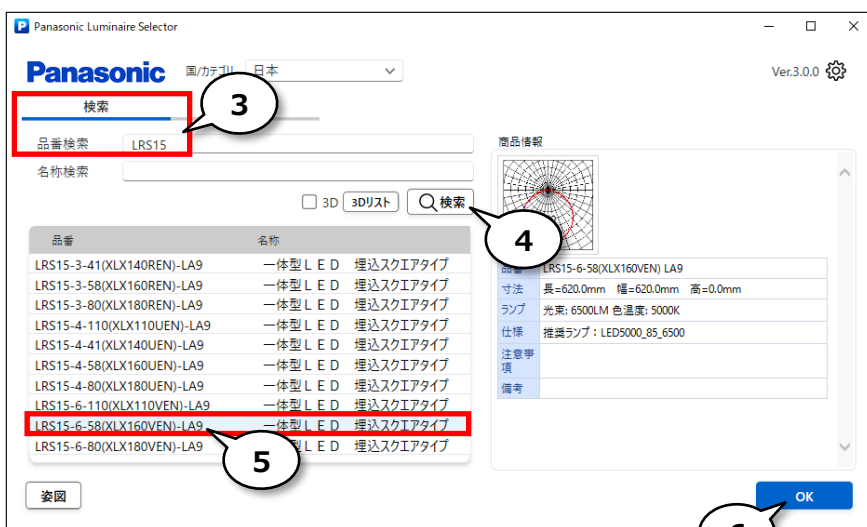
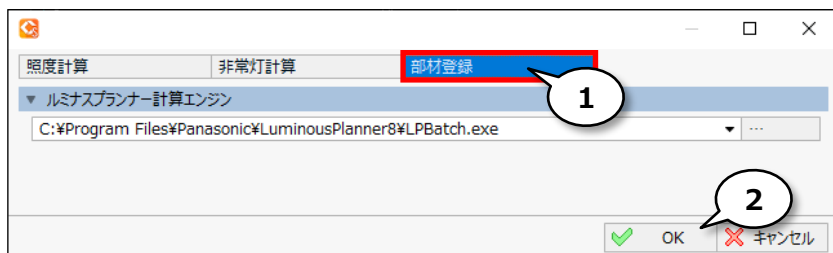
ルミナスプランナー連携を使って照明器具を登録してみましょう

Operation

LP連携



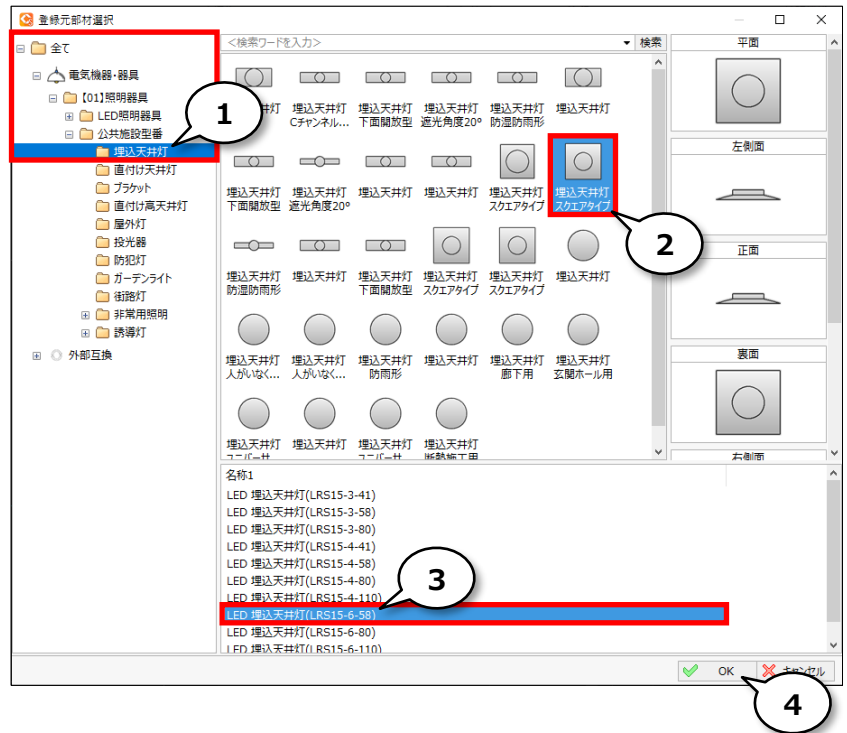
- ① 「部材登録」をクリックします
- ② OK
- ③ 登録する器具を検索します
*品番検索：LRS15
- ④ 検索
- ⑤ 登録する品番を選択します
*LRS15-6-58 (XLX160VEN)-LA9
- ⑥ OK
- ⑦ 「灯具詳細」を設定します
- ⑧ 保守率を選択します
*保守率：屋内中 0.77
- ⑨ OK



- ① 登録元とする部材を選択します
*「電気機器・器具」-「【01】照明器具」-
「公共施設型番」-「埋込天井灯」
- ② 参考形状を選択します
*埋込天井灯スクエアタイプ
- ③ 参考器具を選択します
*LED 埋込天井灯 (LRS15-6-58)

④ OK

⑤ キャンセル



5.

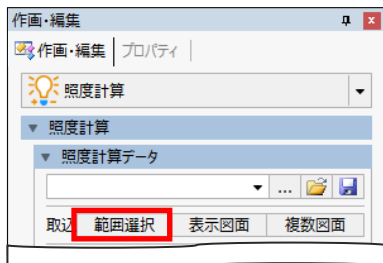
照度計算を行いましょう

Operation

照度計算



- ① 照度計算を行う部屋を選択します
*「範囲選択」をクリック



- ② データを取得する照明器具と部屋情報を選択してください

- ③ 選択範囲の終点を指示してください

- ④ 右 選択完了

- ⑤ 照度計算データを設定します

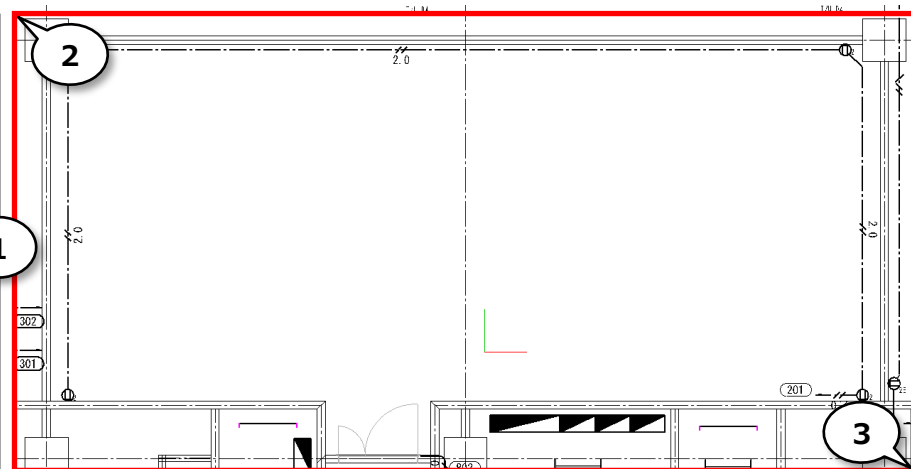


- ⑥ 照明器具形式を選択します
*「選択」をクリック

- ⑦ 器具を選択します
*「外部互換」-「【03】LP連携」

- ⑧ 器具を選択します
*LRS15-6-58(XLX160VEN)-LA9

- ⑨ OK



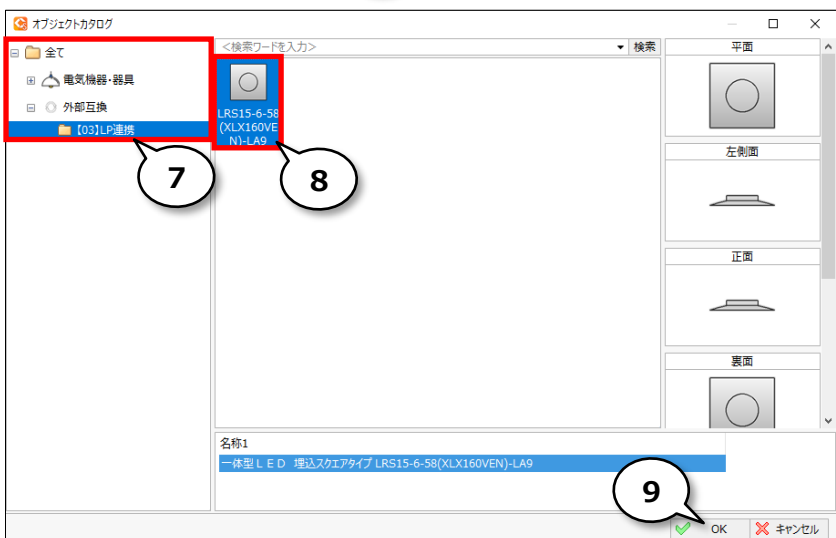
4右

右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。

階数	室名	照明器具 形式	器具の 光束 F (lm)	グレア 分類	設計 照度 E (lx)	開口 X (m)	実行 Y (m)
1F	事務室	選択 一体型埋込...	選択 指示	6500	G1b	0	参照 14.4

5

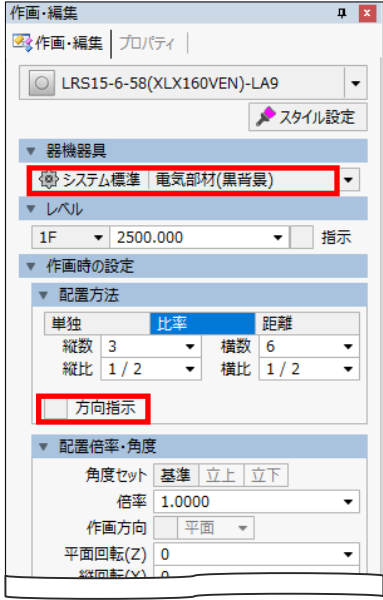


① 設計照度を設定します
*設計照度：750

② 作業面高さを設定します
*作業面高さ：0.8

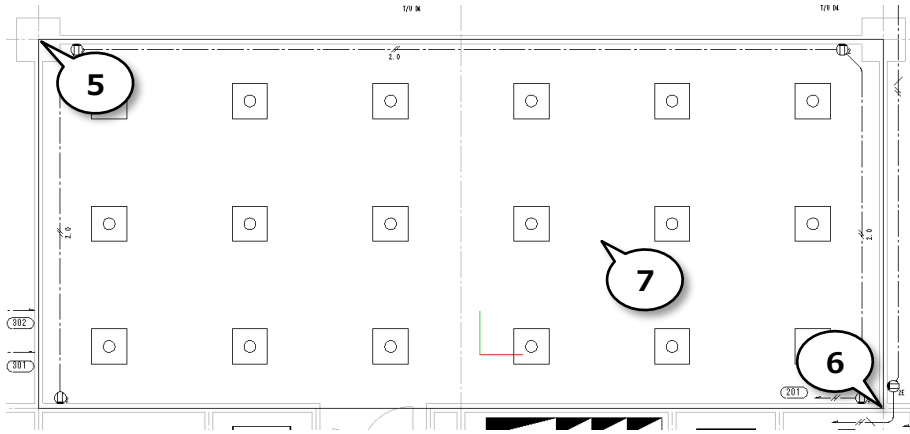
③ 照明器具を配置します
*「配置」をクリック

④ 配置方法を設定します
*プリセット：電気部材（黒背景）
*「方向指示」をOFF



階数	室名	照明器具形式	器具の光束 F (lm)	グレア分類	設計照度 E (lx)	開口 X (m)	奥行 Y (m)
1F	事務室	選択 一体型埋込...	選択 指示 6500	G1h	750	参照 14.4	指示 6.3

照度計算データ									
実行 Y (m)	面積 A (m2)	高さ Z (m)	作業面高さ h1 (m)	器具下がり h2 (m)	周囲環境	保守率 M	器具の数 N (台)	設計器具の数 N (台)	設計照度 E (lx)
指示	90.36	2.5	0.8	0.0	得 普通	0.77	17.82	18	配置 758



⑤ 対角点1を指示してください
*通り芯の交点をクリック

⑥ 対角点2を指示してください
*通り芯と壁芯の交点をクリック

⑦ シミュレーションを行ってください

⑧ 照度計算に戻ります
*「キャンセル」をクリック

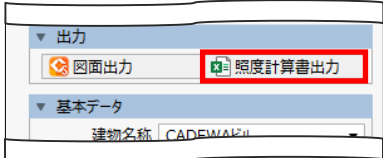


- ① 基本データを設定します
*建物名称：CADEWAビル
*日付：令和6年1月9日



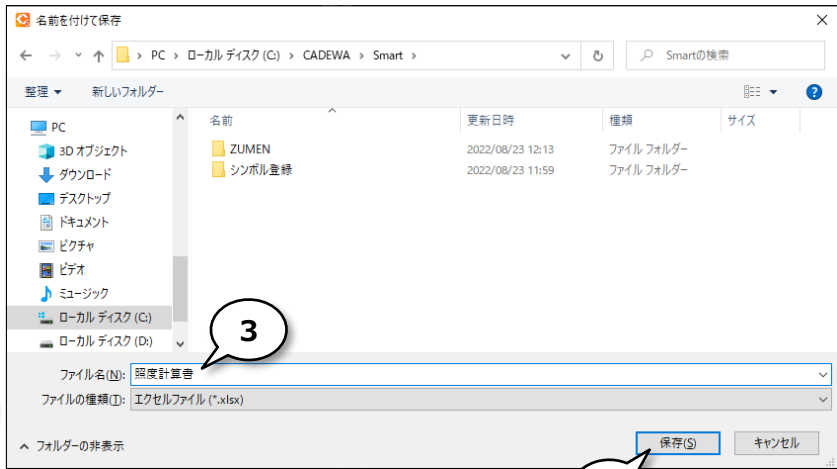
1

- ② 照度計算書を出力します
*「照度計算書出力」をクリック



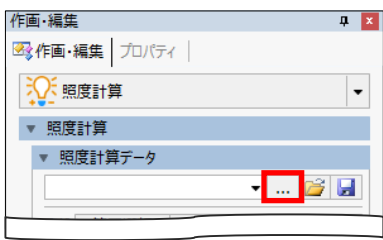
2

- ③ ファイル名を入力します
*照度計算書
- ④ 保存



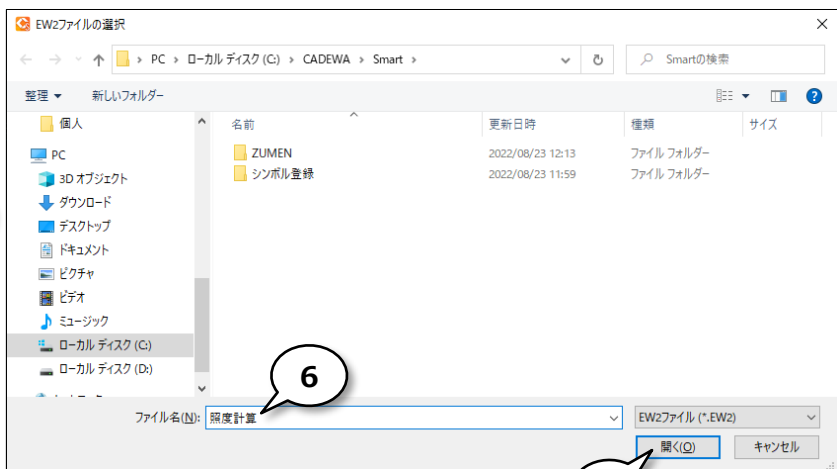
4

- ⑤ 照度計算データの保存パスを設定します

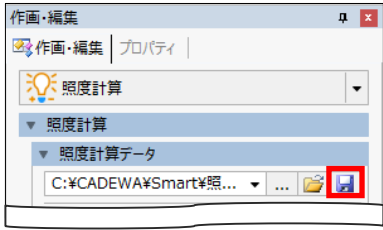


5

- ⑥ ファイル名を入力します
*照度計算
- ⑦ 開く
- ⑧ データを保存します



7



8

6.

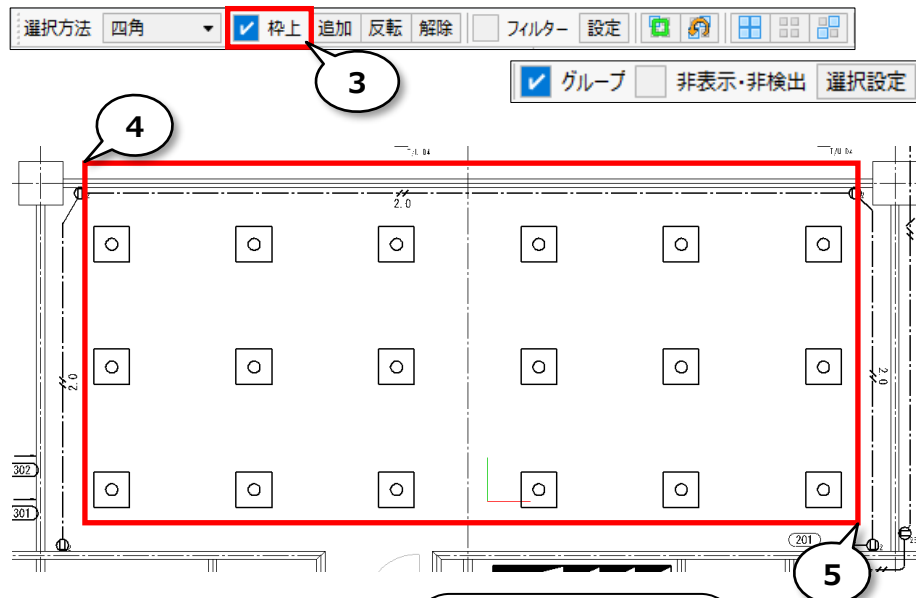
照度分布図を作画してみよう

Operation

LP連携

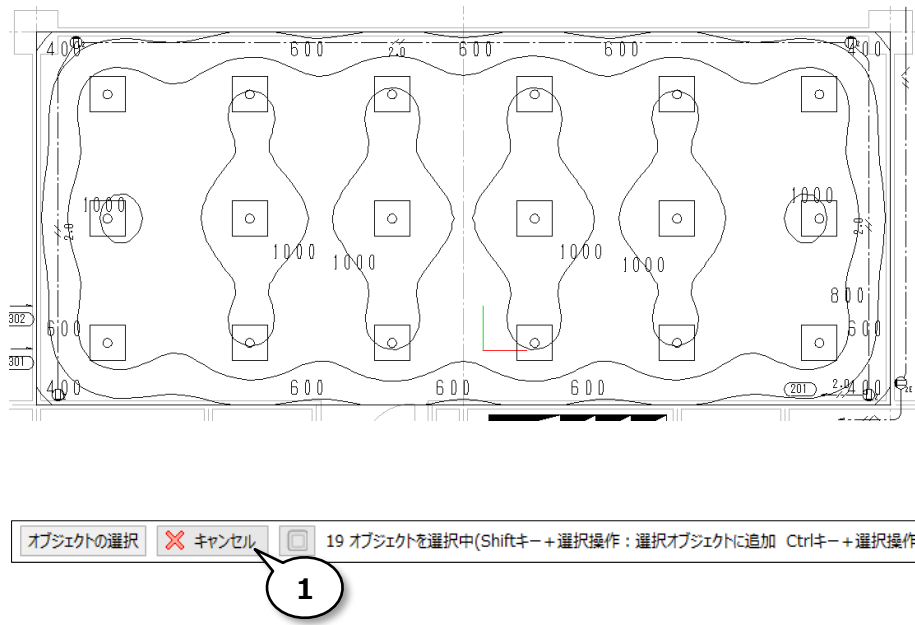


- ① 「照度計算」を選択します
- ② 「対象選択」をクリックします
- ③ 「枠上」をONにします
- ④ 対象部材を選択してください
*照明器具を選択
- ⑤ 選択範囲の終点を指示してください
- ⑥ 右 選択完了
- ⑦ 計算面高さを入力します
*0.8を入力
- ⑧ 作画項目を設定します
*「照度分布図作画」をON
- ⑨ OK
*照度計算処理完了を確認
- ⑩ キャンセル



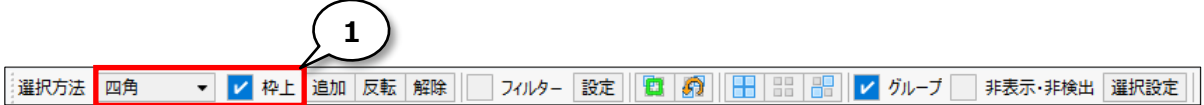
右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。

① キャンセル



補足
説明

部屋情報の利用



「部屋」情報を設定しておく、照度分布図作成の対象部材選択時に部屋を同時に選択することで、面積、計算面高さなどの情報を利用できます。
(対象部材の選択時、「枠上」にチェックを入れて範囲選択すると「部屋」を同時に選択することができます。)

7.

図面を保存してみましょう

Operation

名前を付けて
保存



- ① ファイル名を入力します
*Smart_60_E02_電気LP終了.ZDW

- ② 保存

